

感謝！

私は東海教会に赴任してから半年になります。まず、ごミサにいつも積極的に来てくださる皆さんに感謝いたします。304年にローマ帝国の皇帝ディオクレティアヌスがキリスト者たちを迫害し、彼らの「日曜日の集会」つまり日曜日のミサを禁止しました。にもかかわらず、日曜日にミサをささげていた彼らが捕まえられ殉教される前に、「なぜそのようなことをしたのか」と尋ねられました。彼らは「私たちは日曜日のミサなしに生きられないから」と答えたそうです。その殉教者たちの精神を受け継ぐ私たちもごミサなしには生きられないでしょう。ごミサに与るたびに、一つの信仰と一つのパンを分かち合うことによって私たちはキリストと結ばれ、キリストの神秘的体になり、自分自身のすべてを神にささげ、日々の信仰生活の糧を得るのでしょう。

火曜日の聖書の分かち合いにいつも参加してくださる皆さんに感謝いたします。神を信じることは個人的なことかもしれませんが、もちろん、個人的に祈るのは大切なことです。しかし、信仰は自分の心の中に秘めておくべきものではなく、分かち合うべきものです。自分がどのように神の御言葉を受けとめているかを分かち合うと、それは互いの支えになります。信仰には個人だけという部分だけでなく、人々との接点を持ちながら分かち合うべき要素も少なからずあるのです。互いに信仰の恵みを分かち合ってこそ頂ける、大きな恵みがあることも覚えていなければならないでしょう。

教会のために様々な仕方で奉仕してくださる皆さんに感謝します。教会は十字架に因む共同体です。神様との縦の関係と、信徒同士の横の関係の両方が重要でしょう。キリストの体の部分である私たち一人ひとりの喜びも悲しみも、成功も失敗も互いのものです。互いに支え合って一つの目標を目指して歩んでいける共同体になりましょう。時間を許すなら、ミサの後に一緒にコーヒーでも飲みながら少し雑談しましょう。



レジモン・ヴァルギース神父さま

助任のレジモン・ヴァルギース